

第27期第10回常任理事会議事録

日 時：1993年9月24日 15時00分～18時30分

場 所：気象庁内日本気象学会事務局

出席者：浅井，竹内，岩崎，大西，小倉，木田，関口，
中井，中村，新田，村上，松野 以上12名

議 事

1. 第27期第9回常任理事会議事録の確認

原案どおり承認。

2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義等使用許可，転載許可各1件。

第16期日本学術会議会員の選出に関する学術団体登録を申請していたところ，3人の推薦人の配分が予定される旨の連絡があり，原案どうり希望すると回答。

TRMM アルゴリズム開発に関するリモートセンシング技術センターとの業務委託契約を完了。8月31日に約9割が入金された。一部をすでに支出中。

地球化学宇宙化学研連から推薦依頼のあった文部省科研費「地球化学」の審査委員について，小川利紘会員（東京大学）を推薦。

第1回日産科学賞候補として田中博会員（筑波大学）の推薦を持ち回りの常任理事会で決定したことを報告。次回からは，各賞担当理事を中心に，学会賞，藤原賞等の表彰関係担当理事で推薦候補を決定することを常任理事会として確認。

会計…1993年7，8月の収支決算を報告。予算執行は収入・支出とも順調。

TRMM 委託研究関係経費の記載費目について指摘があり，今後改める。

天気…9月号の内容及び10，11月号の予定を報告。

IAMAP の総会報告の原稿は順調に集まっている。『天気』の特集号とするかどうかを検討中。

気象集誌…第71巻第5号（10月号）の内容を報告。

気象集誌の振興策について若干の議論を行った。1979年頃をピークに論文数が減少していることに関し，円高の影響で外国雑誌への投稿が比較的容易になったことなどの指摘が

あった。雑誌のもつ「インパクトファクター」の評価で，不当に低く評価されていないかについて調査する必要があるとの意見もあった。編集委員会での議論の報告として，集誌掲載論文から毎年数編を優秀論文として表彰する案が紹介され，常任理事会では山本・正野論文賞との相違点などについて議論。引き続き編集委員会で検討を続けることにする。

教育と普及…委員1名の辞任の報告を了承。

国際学術交流…後期は追加募集はしない方針。今年度の予算剰余は来年度に繰り越したいとの考えを報告。

IAMAP…9月24日に IAMAP 国内組織委員会が開催された。参加1088（海外627）名，参加国40か国1地域，提出論文数1627，寄付金協賛企業127，収支はほぼ均衡している。

パソコン通信…8月の着信件数370件。

3. 会員の新規加入等について

個人30名，団体1の入会を承認。個人7名の退会を報告。

4. 講演企画委員の交代について

2名の委員の交代を承認。

5. 堀内基金奨励賞候補に対する投票結果について。

総投票数は27名中25名。有効投票の3分の2以上の可とする投票があり，承認された。

6. 第28期役員選挙に関する細目及び日程について

8月31日に行われた総合計画及び庶務担当理事の話し合いの結果まとめられた原案について審議。立候補届けの記入様式，地方区選出理事に対する選挙権の基礎になる所属支部の定義，投票用紙の様式，投票方法と無効投票の判定方法などについて議論。原案どおり承認。10月の（全国）理事会の承認を受けた後，11月に選挙管理委員会を立ち上げ，『天気』12月に告示，1月末立候補締め切り，3月4日投票締め切り，3月末までに推薦による理事候補も含めて全理事候補を確定し，5月の総会で承認を受け，7月1日から新理事体制を発足させるとの日程で行うことを承認。